

2月2日(水)

本年度第27回(通算2573回)12時30分～ 釧路プリンスホテル

『地域問題例会』

担当/社会奉仕委員会

☆お客様と来訪ロータリアン

・小船井修一君 (R I 第2500地区PDG)

・三木克敏君 (釧路西RC幹事)

☆メイクアップ

☆出席報告【会員総数65名 免除11名 出席計算に用いた会員数65名】

1月26日例会 出席及びメーカー数 37名 出席率 56.9%

☆ニコニコ献金(今年度累計 459,000円)

- ・三木幹事本日宜しくお祝い致します 三原克也君、泰地浩幸君
- ・三木講師ご講演ありがとうございます 佐渡正幸君
- ・息子の結婚式終了しました。丹葉会員菊池会員お世話になりました 中井 寛君
- ・入会記念日無事24年過ぎました 北川健二君

☆会長挨拶

皆さんこんにちは。2月に入り最初の例会です。明日3日は節分、4日は立春ですが、春はまだまだ浅く、厳しい寒さが続いております。インフルエンザも猛威を振るっておりますが、昨日の新聞でのインフルエンザ情報によると、市内6小学校が学年閉鎖と学級閉鎖になっているとのことでした。日常的な予防法としては、手洗いとマスクと咳エチケットが重要だとのこと。皆様も十分お気をつけいただきたいと思います。

本日の例会は、釧路西ロータリークラブ三木幹事をゲストとしてお迎えし、専門分野であります教育問題についてお話をいただきます。どうぞよろしくお願いたします。

☆幹事報告

①本日回覧しているものを報告します。

- ・R I より前年度の報告書
- ・財団ロータリー米山記念奨学会様より広報紙
- ・NPO法人釧路わっと様より広報紙
- ・釧路西・東・南・ベイ・根室・厚岸・浜中RC様よりプログラムの案内と会報

②7分区事業 こども遊学館にて2/16～2/20まではやぶさの帰還カプセル特別公開の協賛いたします。金額は12万円で展示用ディスプレイ40インチとスタンドになっています。

③ロータリーの友とガバナー月信をメールBOXに入れましたのでご確認ください。

④2500地区合同セミナーに15名の参加ありがとうございます。

⑤家庭集会のご案内をお送りしました。開催日は2/5～2/15、報告書は2/19まで



☆講師

三木 克敏様
(釧路西RC)

〈釧路の子ども達の 基礎学力問題〉

本日はお招きいただきましてありがとうございます。釧路教育活性化会議・代表の三木と申します。私、釧路西RCで、本年度・幹事を務めさせていただいております。親クラブである北クラブさんには、第1例会の表敬訪問、10月の深川PDGによる職業奉仕講演会、本日で3回目でございます。上期が終了したものの下期にはIMが控え、幹事としては、まだ気が抜けない状況であります。会長以下・会員一同に成り代わりまして、IMの実施及び下期の運営につきましてご指導・ご協力を賜ります様、お願い申し上げます。

さて、本日は「釧路の子ども達の基礎学力問題」と題してお話を進めさせていただきたいと思っております。この手のお話を申し上げますと、中には拒否反応を示す方がいらっしゃいます。「たかが子どもの勉強ではないか。子どもは元気に遊んでいればよろしい」といったご意見です。実は私もそう思うんです。職業分類・社会保険労務士ということでロータリーに在籍させていただいておりますが、学習塾講師を振り出しに学習塾経営を20年以上、私教育に携わって参りました。現在は、江南高校そばの光陽町にて、株式会社情熱空間・明光義塾釧路愛国教室という個別指導の学習塾を経営しております。この仕事に就くまでは私自身、「学習塾など必要悪に過ぎない」そう思っていました。

全国一斉学力テストが実施されています。平成22年の結果ですが、47都道府県の中にあつて我が北海道は小6生が47位、中3生が43位という結果でした。北海道教育委員会の発表値によるとトップは札幌市・石狩地区次いで旭川市・上川地区、次に帯広市・十勝地区と空知地区そして函館市・渡島地区です。おおむね都市の人口規模に比例している傾向が見取れます。ですから釧路は上位に位置しても良さそうなものですが、小6中3とも国語、算数・数学の全分野において全道平均を下回っています。

さて、基礎学力という言葉は実はなかなか曖昧な用語です。人によって何をもって基礎学力と定義するかはまちまちでしょうけれど、我々が考える基礎学力とは、実は小4相当の学力を意味します。こう言うと「そんなのは当たり前だろう!」と言われるのですが、当た

り前ではない状況が、そこかしこで起こっているわけです。これは毎年中3を対象に全道一斉で行われる学力試験の結果です。9月10月11月に実施され、それぞれ学力総合A・B・Cと言われる試験で、この試験結果が進路指導の基礎資料になります。各教科60点満点の合計300点満点、釧路の中学校の平均は110～120点程度。全日制の北海道公立高校の平均点180点弱です。同時期の全道平均は150～160点程度と推測されます。釧路の子ども達の学力について特に顕著なのが、数学の点数の低さです。平均10点台の学校も多くありますが実はこの試験、計算部分が全問正答できれば20点を点数できるんです。高校での赤点は30点未満です。60点満点に換算したなら18点ですから、釧路の子ども達の多くは算数・数学の力が「赤点」ということになろうかと思っております。さて、道内には4つの高専が置かれていますが、不況に強いとして高倍率をキープしている状況にあるものの、数学がこういった状況にあるので釧路高専に関しては倍率が上がりず偏差値も一番低いものになっています。次に道内最大の模擬試験である北海道学力コンクール事務局による発表値です。釧路の子ども達の学力は、お隣の十勝地区に大きく水をあけられています。一方、社会保険労務士として経営者として、こういった声もよく耳にします。例えば水産加工業の現場で、積み上げられた発泡スチロールの個数を数えられない。つまり、縦×横×高さの計算ができないということです。さらに接客業の現場で敬語が使えずにお客さんに不快な思いをさせた。販売の現場で消費税の計算ができない。言われた会社名を漢字で書けず領収書を切れない。誤字脱字だらけなので恥ずかしくて人前に出せない。そういった声があちこちから聞こえてきます。

さて、嘆いてばかりいても始まりません。我々と考えを同じにする複数の方々とのコラボレーションにより「釧路の教育を考える会」という組織が正式に発足し地元釧路の子ども達の基礎学力向上のためひいては地元経済の発展のため、また福祉問題の解決のために、《ものを言い、そして行動をする組織》として、釧路の行政に具体的な提言をすること。また、地元経済界が求める人材の育成のため、企業のニーズを学校教育に橋渡しをして正確に伝え、それを念頭に置いた学校教育が行われること。そういったことを目標にしております。今後、この会を通じて皆さまへお願いをすることもあろうかと思っておりますが、その際にはご支援をいただければ幸いです。心よりお願い申し上げます。御清聴ありがとうございました。